

学校だより

09 インディアナ日本語学校
NO11(6月) 全校生311人

皆様からの意見や要望(学習編)

○ 学習について

- ① 宿題を増やしてほしい。(小下)
- ② 算数の宿題で文章問題を増やしてほしい。(小下)
- ③ 文章を書く宿題を毎週出してほしい。(小下)
- ④ 小3からの理科・社会の家庭でやれることを教えてほしい。(小下)
- ⑤ なかなか自分から発表しないので、指名してほしい。(小上)
- ⑥ 読書を書き宿題の一部に出してほしい。(小上)
- ⑦ ノートの書き方や字を丁寧に書く指導してほしい。(小上)

★ 宿題の量は、学ぶべき量と子ども達の学ぶ必要量とで決めてありますから、個々に宿題量は決めていません。皆様からのご意見や要望は学校でも検討しています。③～⑦は、担任ともご相談下さい。



ホテルの見られる季節です

本校の歌人

○ 夏の陽に 照らされ輝く 海面に



風がまじって 海のカーテン
うえやま たか こ
(6年 上山 貴子)

○ 雨の日に 雷が鳴り ドスドスンと





すごく激しく 闘っている
てらさか まあや
(6年 寺坂 麻彩)

○ マウンドを ゆずりたくない ぼくの意地



みんなの心を ボールに込めて
つかもと りょうじ
(6年 塚本 亮司)

雲 文章を書こう

<p>1 年 かねこ よしの 金子美乃</p>	<p>きょう、はがぬけました。3こめがぬけました。あさにぬけました。うれしかったです。したのはがぬけました。おかあさんがおめでとうっていってくれました。 トウスフェリー(ようせい)がきました。ママがよるにおきてたから、トウスフェリーをみました。ママがトウスフェリーのしゃべっているのをききました。1どるおいとくよっていってました。</p>
<p>1 年 やまだ ゆきな 山田悠稀奈</p>	<p>ゆうがたからくらくらくなってきて、あめがざあざあふってきた。そらがくらくらくなって、かみなりがひびくようになって、かぜもびゅうびゅうふいてきた。それが、つづいていると、ひょうがとつぜんふってきた。きゅうにていでんになりびっくりした。ひょうとかみなりで、いえがつぶされるかとおもった。</p>
<p>2 年  うけい りょうすけ 受井 領甫</p>	<p>先週の土曜日は、オハイオしゅうにいきました。ぼくとおかあさんとおとうさんは、ホテルにとまりました。日曜日には、いろいろなアンティークモールにいきました。ぼくは、さいしょにいったモールでほう石のげん石をかってもらいました。その石は、ぼくの手のひらと同じくらいの大きさの石でした。きらきら光ってとてもきれいです。そのよるは、ケンタッキーのホテルにとまりました。そのホテルには、プールがあたつのでプールに入ろうと、下に下りてみたら、さっきまで人があそんでいたのに、なぜかこしょうしていてプールに入れませんでした。つぎの日には、メモリアルアルデーで学校が休みだったので、シンシナティのどうぶつえんにいきました。そのどうぶつえんには、キリンやチーター、それにぞうやとらもいました。 ギフトショップがあったので、そこによりました。ぼくは、またほう石のげん石をおこづかいでかいました。ぼくは、とても楽しかったです。</p>
<p>うえやま ゆうや 4年 上山 雄也</p>	<p>ぼくは、「かむことの力」を読んでわかったことがあります。それは、よくかんで食べるとねむたくならないことです。そして、かめばかむほどだえきもたくさん出てきます。だえきがたくさん出ることは、消化を助けるだけでなく、歯の健康にとっても大事だと思いました。</p>
<p>中2 年  はやし かなえ 林 佳苗</p>	<p>私が感じたカルチャーショックは、言葉です。私は、日本にいるとき英会話教室に通ってました。そのときは、習い事の1つとしていただけなので、楽しかったけれど、それほど熱心ではありませんでした。 アメリカに来て、その英会話教室で学んだことが役に立つと思ったけれど、そうではありませんでした。アメリカのクラスメイトや先生の話している言葉は、速くて聞き取れず、私が日本で習った英語とは全く違って、とても驚くのと同時に、どうして理解できないのだろうと悔しく思いました。それで、日本人の方に家庭教師をお願いして、文法・単語・表現・発音を教えてもらうようになってから、少しずつだけれど、上達していくように感じました。 今では、多少のつまづきはあるけれど、アメリカ人のクラスメイトやバンドの仲間、それに先生と会話をすることが出来るようになりました。この言葉の壁を、何とか乗り越えることが出来たのは、いろいろな人の支えがあったからだと思っています。</p>